

## 平成 29 年度沖縄の農家民宿一期一会創造事業 事業概要

主催：沖縄県農林水産部 村づくり計画課  
受託：株式会社カルティベート

### 【事業の背景および目的】

農村における農家民宿を中心にした交流活動は地産地消の推進や定住促進、農家所得の向上など地域活性化に貢献している。本県における農家民宿の受入は従来、修学旅行生が中心であったが少子化や他県との競合により、近年伸び悩みが見受けられる一方で、家主不在型の民泊など多様な民泊が台頭し、差別化が求められている。

本事業では、農家民宿を中心に特色ある資源を活かし、切れ目なく農村に人々を呼び込むため、戦略づくりの調査や新たな取組の試行・実証を行い、農家民宿の新たな方向性・価値を創造・推進することにより、農村の活性化と農業の振興を図ることを目的とする。

### 【今年度業務の概要】

#### (1) 農家民宿の基本調査の実施

農家民宿の推進に係る情報収集及び調査(アンケート・ヒアリング)を実施する。その結果などから沖縄らしい農家民宿のスタイルの方向性を取りまとめ、推進するための戦略や取組を策定する。

#### (2) 農家民宿スタイル実証調査の実施

農家民宿のスタイルを実践的に実証する。対象は沖縄県内の農家民宿受入団体とし、企画提案を公募し、実効性の高い2地域を選定する。今年度は8月の公募・9月中旬頃からの試行開始を予定している。内容については、農家民宿受け入れ時の安心安全の取り組みをテーマとする。試行に要する経費上限は1団体あたり400万円(税込み)とする。

#### (3) スタイル試行地域での実証調査・現地支援

専門家(アドバイザー)との連携を行いながら、試行期間終了後も、地域が自立・主体的に安心安全な受け入れを継続的に推進できるよう、各種研修会・勉強会(リスクマネジメント講座等)の実施やサポート・啓発を行う。

#### (4) 結果のとりまとめ、普及

試行地域の取り組みについて、検討委員会の評価と試行地域の自己評価を踏まえ、実証結果のとりまとめを行う。調査結果を基に安全安心の啓発資料を作成・配布する。

また、県内の全農家民宿受入実施団体を対象に事業報告会を行い、基本調査結果やスタイル試行結果報告のほか、農家民宿のスタイルや次年度以降の方向性を共有する。

# 沖縄の農家民宿一期一会創造事業

事業費 (H29) : 20,494千円  
(うち国費 : 16,395千円)  
事業期間 : 平成29年度~31年度

## 事業目的

本県の農家民宿を取り巻く情勢が変化中、沖縄ならではの農家民宿を中心とするグリーン・ツーリズムの方向性・価値を創造して、農村に人を呼び込み、農村の活性化と農業の振興を図る。

## 事業概要

農家民宿を中心に特色ある資源を活かし、切れ目なく農村に人々を呼び込むため、戦略づくりの調査や新たな取組の試行・実証を行い、農家民宿の新たな方向性・価値を創造・推進する。

## 課題・背景

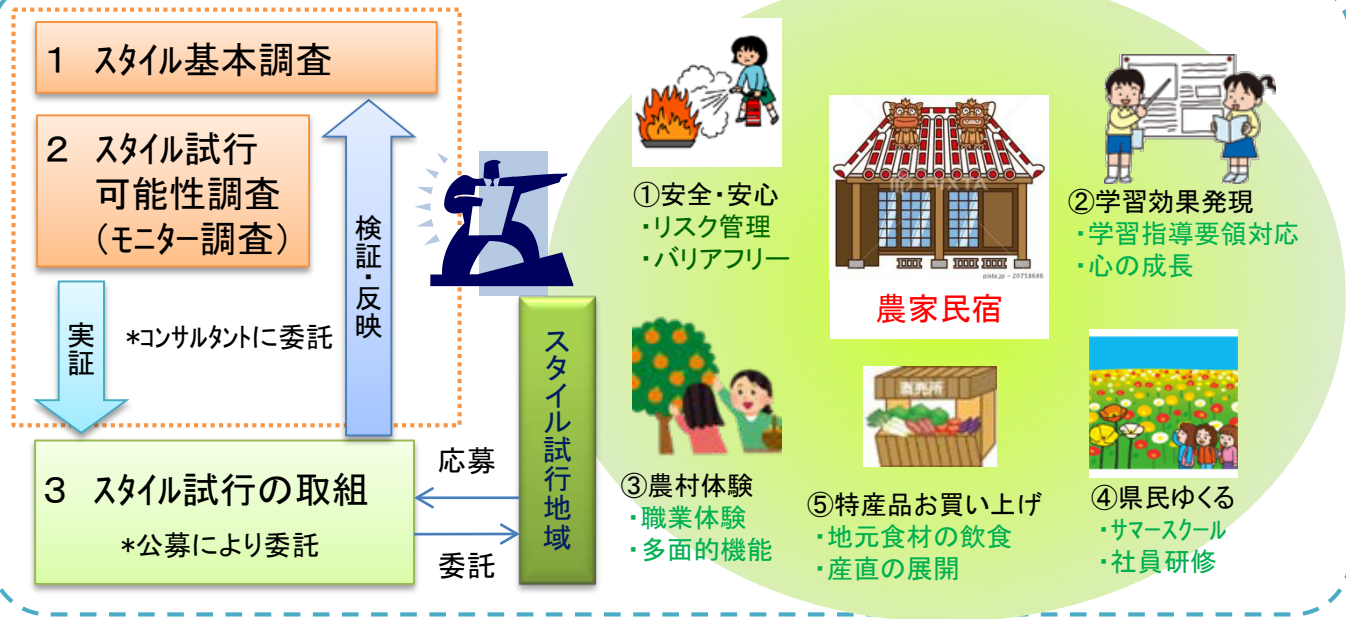
- 少子化や他県との競合による修学旅行生の減少
- 台頭する多様な民泊との差別化

## 想定される成果※

農家民宿の新たな方向性としてのスタイルを創造。

- 例示
- ① 安全・安心
  - ② 学習効果発現
  - ③ 農村体験
  - ④ 県民ゆるる
  - ⑤ 特産品お買い上げ

## 実施イメージ



※「想定される成果」の5項目は、あくまでも実施前の想定として例示したものです。